

福島県総合計画のかたんガイド

「福島県総合計画（2022▷2030）」全320ページからなるこの計画の中で、読んでほしいポイントをまとめています。まずはここを中心に読んでみてください。

POINT 1 計画の全体構成

POINT 2 県づくりの理念・基本目標・将来の姿

POINT 3 課題から計画までの構成

POINT 4 具体的な取組、指標など

POINT 5 地域別の主要施策

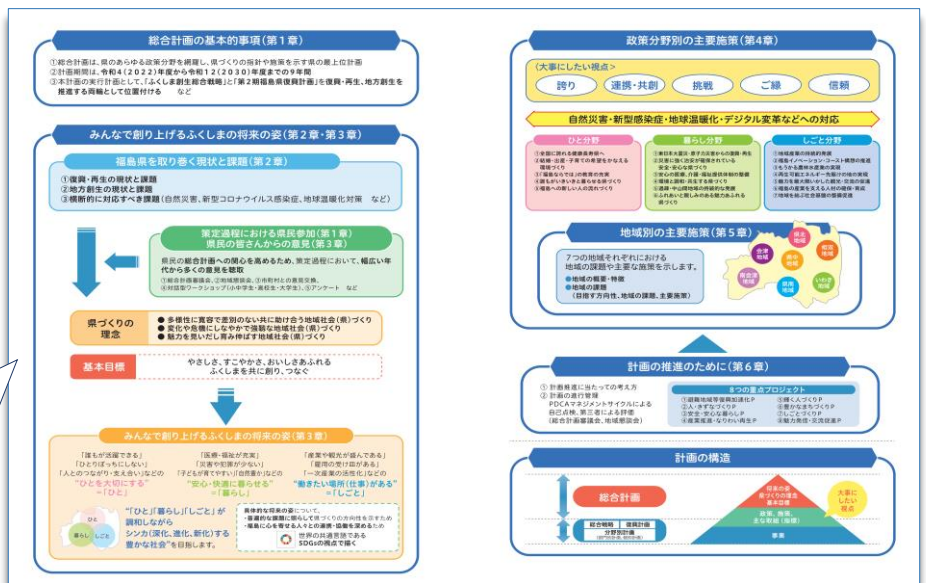
POINT 6 進行管理



POINT 1 計画の全体構成

P6~17

総合計画がどのように構成されているか。第1章から第6章（全6章）までの計画の流れや仕組みを記載しています。



POINT 2 県づくりの理念・基本目標・将来の姿

2 県づくりの理念

第2章「福島県を取り巻く現状と課題」と、県民の皆さんから頂いた意見を踏まえ、県民の皆さん、民間団体、産業界、県が連携しながら、「福島ならではの」将来の姿を実現するために共有する総合計画の課題にある根本的な考え方を「県づくりの理念」を整理します。

◆福島県を取り巻く現状と課題（第2章）

第2章「福島県を取り巻く現状と課題」においては、具体的に解決を進めべき課題が箇条書きで整理されています。

県日本国大企業・県子民間からの復興・再生	人口減少対策（＝地方創生）	機動的に対応すべき課題
<ul style="list-style-type: none"> 産業構造の復興・再生 産業競争力の回復 観光振興・観光立国への転換 観光・インフラ・観光の連携 観光の振興 観光振興の推進 観光振興の推進 観光振興の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢化・少子高齢化への対応 地方創生・地方創生への対応 地方創生・地方創生への対応 地方創生・地方創生への対応 地方創生・地方創生への対応 	<ul style="list-style-type: none"> 機動的に対応すべき課題 機動的に対応すべき課題 機動的に対応すべき課題 機動的に対応すべき課題 機動的に対応すべき課題

◆県づくりの理念

多様性に寛容で差別のない「共に創り合う」地域社会（県づくり）
「やさしさ、すこやかさ、おいしさあふれるふくしまを共に創り、つなぐ」

変化や危機にしながら強靱な地域社会（県づくり）
「やさしさ、すこやかさ、おいしさあふれるふくしまを共に創り、つなぐ」

能力を思いだし育み伸ばす地域社会（県づくり）
「やさしさ、すこやかさ、おいしさあふれるふくしまを共に創り、つなぐ」

3 基本目標

県づくりの理念の下、県のみならず、あらゆる主体が「福島ならではの」将来の姿の実現に向け、連携しながら県づくり・地域社会づくりに取り組めるよう、基本目標を以下のとおり設定します。

基本目標については、9年後を見直し、自然災害や新型コロナウイルス感染症などの課題を乗り越え、東日本大震災・原子力災害から県民の安全と安心を確保し、世代を超えてつなぐ、あたたかく「ふくしま」を「イメージ」して盛り立てます。

〔令和12（2020）年度を見直しした基本目標〕

「やさしさ、すこやかさ、おいしさあふれるふくしまを共に創り、つなぐ」

※「やさしさ」「すこやかさ」「おいしさ」を基本目標に設定した理由
県民の生活や暮らし、産業や観光の発展に「やさしさ」「すこやかさ」「おいしさ」が不可欠である。また、自然災害や新型コロナウイルス感染症などの課題を乗り越え、あたたかく「ふくしま」を「イメージ」して盛り立てます。

【目標に掲げたために得られない結果】
この基本目標の達成に向けた様々な取組を進める上で、原子力災害による長期にわたる復興作業や環境回復の取組、避難指示の継続や避難生活・生産の再生、生活インフラの再生、産業の再生、さらには風評の回復や中核的・核下による風評の回復などが事業に解決されていくことが大前提です。この前提がひとたがわらず、本計画の策定や実施の前提となる結果があることから、引き続き、国・県・電力の責任ある対応を求め、国・県・電力が一体となって復興を進め、かけがいのないふくしまを創り出す必要があります。

P32~33

(1) 県づくりの理念・基本目標

本計画の根底にある根本的な考え方「県づくりの理念」や計画の基本目標を示しています。

POINT 5

地域別の主要施策

P152~201

POINT 2 で示した
目指す将来の姿の実現に
向けて、各地方振興局を
中心とした7つの地域
(県北、県中、県南、
会津、南会津、相双、
いわき)による地域づくりに
ついて、各地域で
抱える課題、そしてその
課題に対して進める施策
を「**地域別の主要施策**」
として示しています。

地域別の主要施策

本書は、地理的な条件や自然環境、歴史・文化など、それぞれの特性をいかした7つの地域区分により地域づくりが進められています。
今後各地方振興局を中心に**県北、県中、県南、会津、南会津、相双、いわき**の7つの地域に大別し地域づくりを進めていきます。

本書では、第3章（みんなで創り上げるふくしまの将来の姿）において示した目指す将来の姿の実現に向けて、7つの地域でそれぞれ抱える課題から、各地域で進める施策を「**地域別の主要施策**」として示します。

※地域別の主要施策の進捗については、第4章における「ひと、暮らし、しごと」3分野の政策区分を基準としつつ、各政策の整合を図りながら、7つの地域ごとに特色のある施策を構築し、地域の実情に応じた効果的な取組を進めます。



1 地域別の基本方向

- (1) 地域づくりに向けた方向性
 - ① 県民は、多様な個性や文化を尊重し、多様な価値観、伝統文化、歴史などが息づいており、それぞれの地域の特長をいかした地域づくりを進められてきました。多様な個性や文化を尊重し、多様な価値観、伝統文化、歴史などが息づいており、それぞれの地域の特長をいかした地域づくりを進められてきました。多様な個性や文化を尊重し、多様な価値観、伝統文化、歴史などが息づいており、それぞれの地域の特長をいかした地域づくりを進められてきました。
 - ② 先人から培った歴史や伝統を守り受け継ぎ、自然や歴史・文化、産業など地域資源の蓄積や向上や個性をいかした地域づくりを進め、各地域、県全体が輝き、県民が自負を感ずるような地域づくりを進めます。
 - ③ 各地域の個性や魅力をいかした地域づくり
 - 先人から培った歴史や伝統を守り受け継ぎ、自然や歴史・文化、産業など地域資源の蓄積や向上や個性をいかした地域づくりを進め、各地域、県全体が輝き、県民が自負を感ずるような地域づくりを進めます。
 - ④ 県民の日常生活の質を向上させ、豊か化を図り、県民のライフスタイルの変化へ対応した強力的な対応を図ります。
 - 県民の日常生活の質を向上させ、豊か化を図り、県民のライフスタイルの変化へ対応した強力的な対応を図ります。
 - ⑤ 子育て支援を推進し、地域づくり
 - 子育て支援を推進し、地域づくり
- (2) 新型コロナウイルス感染症への対応
 - 第2章「新型コロナウイルス感染症への対応」でも記載したとおり、新型コロナウイルス感染症への対応は県内にも大きな影響を及ぼしています。
 - 今後の地域づくりに対しては、第4章「新型コロナウイルス感染症への対応」のとおり、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている、施策を柔軟に実行できるよう、デジタル技術の活用や新しい生活様式に配慮した事業体制を構築し、持続可能な地域づくりを進めていきます。

1 地域別の概要・特徴

県北地域

面積	1,753.34km ² (県全体の12.3%)
地域内総生産	1兆8,854億円 (県全体の23.8%)
世帯数	188,185世帯 (県全体の23.8%)
人口	462,134人 (県全体の23.8%)
就業人口	239,518人 (県全体の23.8%)

特徴

- 県北地域の概要と特徴
 - 県北地域の概要と特徴

2 地域の課題

県北地域の目指す方向性

- 安全で安心な暮らしの確保
- 持続可能な生活を支える環境の整備

主要施策

- 安全で安心な暮らしの確保
 - 持続可能な生活を支える環境の整備

POINT 6

進行管理

1 計画推進に当たっての考え

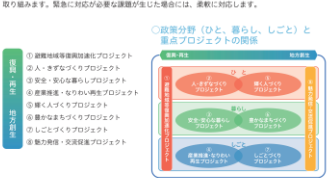
この計画は、県民の皆さんを初め、民間、企業、市町村、農など、本県で活動する様々な主体が、各々の目指す将来の姿を共有し、協力を進めながら進められていくものであり、その実現のためには、それぞれ役割があり、力を合わせて取り組んでいくことが必要です。

2 計画の進行管理

計画を確実に推進し、進行管理を行うためには、PDCAマネジメントサイクルの確実な実行による事業実施の進捗の把握を行い、具体的な成果の達成と成果の見える化を進めます。



推進重点プロジェクト



P205

ここでは、**計画の進行管理**について記載しています。
計画は策定して終わりではなく、**実行していくことが重要です。**
PDCAマネジメントサイクルの確実な実行や根拠に基づく政策立案 (EBPM) などにより、**具体的な成果の創出と成果の見える化を進めることを記載しています。**